

基本理念

草加市立病院は、市民のいのちと健康を守り、地域医療の中核を担うことを使命とします。

草加市立病院

— 第14号 —

平成31年2月20日発行

発行 草加市立病院

編集 経営管理課

〒340-8560 草加市草加二丁目21番1号

☎ 048(946)2200(代)

ホームページ

<http://www.soka-city-hospital.jp>

はじめに

草加市立病院は地域の中核病院として草加市民のいのちと健康を守ることを使命とし、質の高い医療の提供を目指してきました。救急医療では特に心臓病や脳血管疾患に重点を置き、平成24年4月には心臓・脳血管センターを開設しました。今回は、当院の心臓血管外科で行われている手術と脳神経外科で行われている脳梗塞の最新治療についてご紹介します。

また、ご存知のように我が国は超高齢化社会を迎えています。「健康寿命」をなるべく延ばし、平均寿命に近づけることが課題です。そのためには高齢者にみられる「ロコモティブシンドローム」の早期発見・早期予防が重要です。また高齢者の医療は急性期医療のみで完結するものではありません。この度、入院時から退院後の在宅療養までを見据えた支援を行うため『入退院支援室』を開設しましたのであわせてご紹介します。

病院長 矢内 常人



高齢者の骨折、健康寿命について

整形外科 医長 新関 祐美



草加市の高齢化の現状

我が国は2007年に高齢化率が21%を超え、世界に先駆けて超高齢社会となりました。草加市の65歳以上の老年人口も増加を続けており、2015年の高齢化率は24.2%に達しています。

これは全国平均(26.6%)よりは若干低いものの、2045年頃には30%に達する見込みとなっています。

健康寿命とは

このように高齢化がすすむなか、日常的・継続的な医療・介護に依存しないで、自分の心身で生命維持し、自立した生活ができることが重要と考えられるようになってきました。

これを健康寿命といい、埼玉県では65歳から介護保険制度の要介護2以上に認定された時点までの期間としています。

本市の平成24年の65歳時の健康寿命は男性16.74歳、女性19.74歳であり、平均余命との差は男性1.86年、女性3.76年でした。

この差が要介護期間と考えられ、短くしていくことが望まれます。

ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症

ロコモティブシンドローム(運動器症候群、通称ロコモ)とは、骨や関節、筋肉など運動器の衰えが原因で、「立つ」「歩く」といった機能(移動機能)が低下している状態のことをいいます。

要支援、要介護になる原因のトップが転倒、骨折や関節の病気など運動器の故障で、約1/4を占めています。ロコモチェックを知っていますか?①片脚立ちで靴下がはけない②家の中でつまずいたりすべったりする③階段を上るのに手すりが必要である④家のやや重い仕事が困難である(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)⑤2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である(1リットルの牛乳パック2個程度)⑥15分くらい続けて歩くことができない⑦横断歩道を青信号で渡りきれない。この7つのうち1つでも当てはまればロコモの心配があります。骨関節の病気がないかご心配があれば、整形外科受診をおすすめします。

また骨粗鬆症も超高齢社会を背景として増加しており、骨折の大きな原因であると同時に、骨粗鬆症による骨折がさらにロコモを悪化させます。健康寿命を阻害しますので、予防や対策は非常に重要です。

当院における高齢患者さんへの治療

当院の昨年度の手術件数は565件でしたが、そのうち46.5%が65歳以上(263件)の患者さんであり、その内容は骨折観血的手術231件、人工関節104件、その他230件でした。骨折は手関節、脊椎、大腿骨近位部、膝・肘周辺など、骨粗鬆症を背景に骨折する骨脆弱性骨折が多くみられます。

また人工関節は股関節・膝を中心に、肩・肘・手指も行っています。特に高齢患者さんではほかに持病をお持ちの方も多くおられますが、各診療科医師の協力のもと全身状態に配慮したうえで、マルチモーダル鎮痛法(いろいろな種類の鎮痛法を併用することによりリハビリテーション医療を円滑に行います)を必要に応じて併用しながら、できる限り良い術後経過を得られるように治療しています。またメディカルソーシャルワーカーや看護師が適宜ご家族やリハビリテーション医療・介護施設と連携をとり、社会への復帰を円滑に進めていけるようお手伝いしています。

骨粗鬆症治療についてはガイドラインに準じて、DXA(dual-energy X-ray absorptiometry)法を用いた骨密度測定や採血による骨代謝マーカーなどの測定を

必要に応じて行いながら治療を行います。近隣病院・診療所との連携も進めており、皆で一丸となって地域の患者さんのお力になれるよう、努力していきたいと思っています。

当院整形外科受診について

お近くの病院・診療所からの紹介状をお持ちになるほうがスムーズではありますが、なくても直接診察を受けることができます(受付時間に違いがありますのでご確認ください)。お近くの医療機関から地域医療連携相談室を介して予約を取っていただくこともできます。またその際、常勤医3人(新関:上肢(肩肘手)、野木:股関節、結城:膝足スポーツ)および非常勤脊椎専門医師による各専門外来も予約ができますので、ご利用ください。



ロコモチェック

- ①片脚立ちで靴下がはけない
- ②家の中でつまずいたりすべったりする
- ③階段を上るのに手すりが必要である
- ④家のやや重い仕事が困難である(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)

- ⑤2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である(1リットルの牛乳パック2個程度)
- ⑥15分くらい続けて歩くことができない
- ⑦横断歩道を青信号で渡りきれない

この7つのうち1つでも当てはまればロコモの心配があります。